

道徳のひろば ⑧

道徳的価値「個性伸長：自分の長所に気づく」

県の道徳科の指定事業を受け「特別の教科 道徳科」の授業改善に向けて取り組んでいることは皆様にお知らせしているところですが、6月15日（水）は高知大学の森有希准教授をお迎えし、全学年の授業を1日中観ていただき授業の評価とご指導をいただきました。

また、5時間目は校内研修として、西部教育事務所の松岡指導主事にも参観してもらい2年2組が公開授業をしました。

授業は、「サザエさん」を作った長谷川町子さんのことを書いた「まんががすき」という教材を使い、授業後に森准教授にアドバイスなどをいただきながら研修を深めました。

講演には、四万十市教育委員会の太宰指導主事も参加していただき、森准教授より『道徳の教科化に向けて』と題して、「道徳科の目標」「道徳科の学習指導案」「学習指導の多様な展開」などについて講話をいただき、新しい授業づくりの方向性が明確になってきました。これからは、今まで本校が取り組んできた授業づくりを基にした上で、「子どもの立場で考える授業づくり」を目指して取り組んでいきたいと思いました。

先日、森准教授からメールがあり「前に進もうとする学校の推進力と、皆の授業が本当に素晴らしかった」というお言葉をいただきました。



【授業でのワークシートより】

問：「まんがをかく力がないと思った町子さんは母さんのことばを聞いて、どんなことを考えたでしょう。」

きしもとあおば君・・・よし、力がわきあがってきた。まんがをかくさいのうがあったんだ。絵とまんがをかくのをつづけたらじょうずになれるぞ。絵とまんががすきでよかった。いっしょうけんめいかいたらさいのうがでる。

道徳科の目標

道徳的諸価値についての理解を基に
自己を見つめ、
物事を多面的・多角的に考え、
自己の生き方についての考えを深める

学習を
通して

・道徳的判断力
・道徳的心情
・道徳的実践意欲
と態度を養う

道徳性

